

2023年12月22日

各位

三井住友信託銀行株式会社

## Marunouchi Climate Tech Growth Fund L.P.への出資およびIMM連携について

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「当社」)は、丸の内イノベーションパートナーズ株式会社(以下「MIP」)が運営するMarunouchi Climate Tech Growth Fund L.P.(以下「本ファンド」)に、有限責任組合(Limited Partnership)として出資しましたのでお知らせいたします。

また、当社とMIPはIMM(Impact Measurement and Management)(※1)の分野で、その実践プロセスの高度化および投資先企業の支援を相互に連携するために、別途包括的な業務提携を行うことで合意いたしました。

本ファンドは、三菱商事株式会社(以下「三菱商事」)が中心となって組成し、気候変動問題を解決する先端技術や新たなソリューションを有する企業(以下、「気候テック関連企業」)に成長投資を実行します。商業化フェーズおよびスケールフェーズに至った気候テック関連企業は、資金ニーズが大きい一方、必要となるリスクキャピタルが大きくなること、技術開発リスク以外にさまざまなリスクファクターが混在すること等を背景に資金提供は限定的となっており、ファンディングギャップが存在しています。当該ファンディングギャップに対してファンドの仕組みを通じてリスクキャピタルを提供することで、カーボンニュートラル社会の実現に寄与するとともに、優良な投資リターンを獲得を目指します。

MIPは、三菱商事が有する産業知見、グローバルなネットワークを活用するとともに、本ファンドに参画する国内外の事業会社、機関投資家との連携によるユニークなエコシステムを構築し、投資先企業の選定から商業化・スケール化の支援をしていきます。当社は、本ファンドの投資方針、投資先企業への成長支援体制、「社会的価値創出と経済的価値創出の両立」に共感し、インパクトエクイティ投資の一環として本ファンドへの出資を決定しました。また、MIPと包括的な業務提携を結び、当社が培ってきたインパクト評価手法や脱炭素関連での見識・知見を運営会社であるMIPに助言することにより、本ファンドのインパクトファンドとしての価値向上に貢献していきます。

三井住友トラスト・グループは、「信託の力で、新たな価値を創造し、お客さまや社会の豊かな未来を花開かせる」をパーパスとして定義し、「社会的価値創出と経済的価値創出の両立」を経営の根幹に据え、社会課題の解決に貢献するインパクトエクイティ投資や、投資家への魅力的な投資機会の提供を推進しています。当社は、今後も、このような社会課題の解決に資する取り組みを継続し、「資金・資産・資本の好循環」の実現を目指していきます。

(※1)IMM(Impact Measurement and Management)

インパクト測定・マネジメントの略。インパクト投資において、社会的・環境的な問題解決に向けた目標(インパクト)を定め、その目標を達成するための戦略を策定し、運営・評価を行うこと。